



次世代★ヒーロー

くろかわ かずき
黒川和樹 さん

中国高等学校陸上競技対校選手権大会
男子110㌢ハードル・400㌢ハードルで優勝

未来へ進め！ 次世代ヒーロー！
今回は、6月に鳥取県で行なわれた第72回中国高等学校陸上競技対校選手権大会の男子110㌢ハードル・400㌢ハードルで優勝した田部高等学校3年の黒川和樹さんを紹介します。
黒川さんは、5月の県大会では男子110㌢・400㌢ハードルともに大会記録で優勝し、最優秀選手に選ばれました。中国大会でも2種目ともに自己ベストを更新して110㌢ハードル14秒26、400㌢ハードル52秒07で優勝しました。
次の目標は、8月に沖縄で行なわれる全国高等学校陸上競技対校選手権大会。毎日3時間の練習に励み、さらなるレベルアップを目指します。今は、走力アップ、筋力アップに取り組んでいるという黒川さん。「応援してくれるみんなの期待に応えたいです。全国で優勝します」と笑顔で話してくれました。



中学生のときに陸上部に入りハードルを始める。「とにかく走ることが好きでした」

下関市での 就職を 支援します！



市長コラム /
希望の風

市長の部屋

就職促進月間に伴う企業訪問(彦島製錬にて)

若者の都会へのあこがれ。その考えや気持ちが間違っているとは思いません。しかし、人間の幸せっていったい何だろう。そんな当たり前で素朴なことを考えたときに、安心できる「故郷」で「家族と一緒にゆっくり暮らしていく。そんな選択肢も、一つの幸せへの道ではないかなと。私はそう思っています。

下関市は、これから下関で頑張っていくかと思う若者を応援していきます。下関市奨学金返還支援補助金制度をぜひご利用ください。よろしくお願いたします。

こんにちは。市長の前田晋太郎です。全国の自治体が抱える「人口減少問題」。中でも、地方都市では若者の都会への流出が特に問題視され、下関市も例外ではありません。

一方で、企業では働き手の不足が叫ばれ、本市でも、「人手が足りない！」と切実な悩みを抱える経営者も少なくありません。

そこで、下関市は新たに「奨学金返還支援補助金制度」に取り組みます。大学等の在学中に受けた奨学金を返還する時に、その一部を下関市が補助しますよ、という制度です。

ただし、下関市に住み、市内の企業に勤めるなど条件があります。上限は、年間12万円、5年間で最大60万円です。詳しくは、下関市ホームページをご覧ください。

市内にお住まいの方はもちろんですが、進学で市外におられるお子さんやお孫さんに、ぜひこの制度を伝えて、下関で働くことを後押ししていただきたいと思います。